

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：αフラット
会社名：世紀東急工業株式会社
住所：東京都港区芝公園2-9-3
担当部門：世紀東急工業株式会社 製品事業部
電話番号：03-6770-4031
緊急連絡電話番号：03-6770-4031
FAX 番号：03-6770-4042
メールアドレス：ー
推奨用途：主に舗装段差の補修。 使用上の制限：推奨用途以外への使用は禁止する。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：

物理化学的危険性	無し。
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性-区分 2 生殖細胞変異原性-区分 2 発がん性-区分 1A 特定標的臓器毒性，単回ばく露-区分 3（気道刺激性） 特定標的臓器毒性，反復ばく露-区分 1（呼吸器系）、2（免疫系、腎臓）
環境に対する有害性	無し。

GHS ラベル要素：

絵表示	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H319：強い眼刺激。 H335：呼吸器への刺激のおそれ。 H341：遺伝性疾患のおそれの疑い。 H350：発がんのおそれ。 H372：長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系）。 H373：長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（免疫系、腎臓）。
注意書き	
【安全対策】	P201：使用前に取扱説明書を入手すること。 P202：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P260：粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 P264：取り扱い後はよく手を洗うこと。 P270：この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。 P271：屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

	P280：保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【応急処置】	P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。 P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P312：気分が悪いときは医師に連絡すること。 P308 + P313：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 P314：気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
【保管】	P403+P233：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405：施錠して保管すること。
【廃棄】	P501：内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別		混合物					
成分		含有量(%)	分子式	官報公示 整理番号 (化審法 安衛法)	CAS No.	化学物質 管理促進 法 (PRTR)政 令番号	労働安全衛生 法 (通知) 対象物 政令番号
アスファルト		50～70	--	対象外	8052-42-4	対象外	令別表第9の 11の3
天然砂		5～20	--	--	--	--	--
ポルトランドセメント		5～25	--	対象外	65997-15-1	対象外	対象外
アスファルト 乳剤	アスファルト	2～15	--	対象外	8052-42-4	対象外	令別表第9の 11の3
	水		H ₂ O	11-(4)-1 005	7732-18-5	対象外	対象外
硬化促進剤	石英（結晶）	0～3	O ₂ Si	1-548	14808-60-7	対象外	令別表第9の 165の2
	二硫酸カリウム アルミニウム		Al ₂ . 2H ₂ O ₄ S. K	既存 1-25； 既存 1-454	10043-67-1	対象外	対象外

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識不明者にはいかなる食べ物も提供しない。吐かせないこと。飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	急性症状：強い眼刺激。呼吸器への刺激のおそれ。 遅発性症状：遺伝性疾患のおそれの疑い。発がんのおそれ。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系）。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（免疫系、腎臓）。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	適切な保護具（保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面）を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	具体的な症状により処理すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素。
使ってはならない消火剤	注水は原則禁止。
火災時の特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法	ガスの供給を断つ。噴霧ノズル等で散水するなどにより周辺を冷却し延焼防止を図る。 風上から水を噴霧して容器を冷やしながら周囲の消火を行う。 周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。 関係者以外は安全な場所に避難させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身を守る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。危険でなければ漏出源を遮断し、漏出物に接触しない。
環境に対する注意事項	回収された廃棄物を排水溝、下水溝と河川など流水域に流入しないよう注意する。地方自治体と関係国の法律に従う。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	液体： 漏出物を砂やその他の非可燃物で拭き取り、漏出/流出を防止する。 拭き取り或いは乾燥する不活性物質に吸着させてから、適切な空容器に回収する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 清水で漏出物に汚染された地面を綺麗に洗浄する。 固体（粉末）： 粉じんが舞い上がらないように注意深く掃き集め、清潔な容器に入れて処分する。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
注意事項	
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
保管	
適切な保管条件	涼しい所/換気の良い場所/乾燥した場所で保管すること。熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。
混触危険物質	情報なし。
適切な技術的対策	倒壊や落下を防ぐために、過剰に容器を積み重ねないでください。
容器包装材料	内装：ポリ袋、外装：段ボール箱。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：

成分名	ACGIH TLV-TWA	日本産業衛生学会の 許容濃度
アスファルト (CAS：8052-42-4)	0.5 mg/m ³	—
ポルトランドセメント (CAS：65997-15-1)	1 mg/m ³	(吸入性粉じん) 1 mg/m ³ (総粉じん) 4 mg/m ³ (第2種粉じん：ポートランドセメント)
石英（結晶） (CAS：14808-60-7)	0.025 mg/m ³	0.03 mg/m ³ (吸入性粉塵)

設備対策	装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置することが望ましい。 この物質を貯蔵ないし取り扱う職場には洗眼機と安全シャワーを設置することが望ましい。
保護具	
呼吸器の保護具	暴露制限を超えたり、刺激やその他の症状が現れたりする場合は、適切な呼吸用保護具を着用することをお勧めする（送気マスク、防毒マスク）。
手の保護具	不浸透性、かつ丈夫な保護手袋。 推奨する素材の種類：耐薬品手袋。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	作業衣を着用する。
衛生対策	休憩の前に、作業終了後は、手洗いを十分に行う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体と固形物
色	多色
臭い	わずかな臭気
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆 上限	データなし

発上限界／可燃限界	下限	データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
密度		データなし
相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
その他のデータ		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件の下で知られている危険な反応はない。
化学的安定性	通常取り扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	通常の使用条件の下で知られている危険な反応はない。
避けるべき条件	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性：	
LD ₅₀ /LC ₅₀ 半数致死量	
急性毒性（経口）	アスファルト（CAS：8052-42-4）： 急性毒性（経口）LD ₅₀ >5000 mg/kg(ラット)（ECHA） 二硫酸カリウムアルミニウム（CAS：10043-67-1）： 急性毒性（経口）LD ₅₀ >2000 mg/kg(ラット)（ECHA） 製品分類：区分に該当しない
急性毒性（経皮）	アスファルト（CAS：8052-42-4）： 急性毒性（経皮）LD ₅₀ >2000 mg/kg(ウサギ)（ECHA） 二硫酸カリウムアルミニウム（CAS：10043-67-1）： 急性毒性（経皮）LD ₅₀ >2000 mg/kg(ウサギ)（ECHA） 製品分類：区分に該当しない
急性毒性（吸入）	分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	アスファルト（CAS：8052-42-4）：区分2（NITE-CHIRP） 製品分類：区分2
呼吸器感作性	分類できない。
皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	アスファルト（CAS：8052-42-4）：区分2（NITE-CHIRP）

	石英（結晶）（CAS：14808-60-7）：区分 2（NITE-CHRIIP） 製品分類：区分 2
発がん性	アスファルト（CAS：8052-42-4）：区分 2（NITE-CHRIIP） 石英（結晶）（CAS：14808-60-7）：区分 1A（NITE-CHRIIP） 製品分類：区分 1A
生殖毒性	分類できない。
特定標的臓器毒性，単回ばく露	アスファルト（CAS：8052-42-4）：区分 3（気道刺激性）（NITE-CHRIIP） ポルトランドセメント（CAS：65997-15-1）：区分 3（気道刺激性）（NITE-CHRIIP） 製品分類：区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性，反復ばく露	アスファルト（CAS：8052-42-4）：区分 1（呼吸器系）（NITE-CHRIIP） ポルトランドセメント（CAS：65997-15-1）：区分 1（呼吸器）（NITE-CHRIIP） 石英（結晶）（CAS：14808-60-7）：区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓）（NITE-CHRIIP） 製品分類：区分 1（呼吸器系）、2（免疫系、腎臓）
誤えん有害性	分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	アスファルト（CAS：8052-42-4）： 96h-LL ₅₀ >1000 mg/L、魚類（Oncorhynchus mykiss）（ECHA） 48h-LL ₅₀ >1000 mg/L、甲殻類（Daphnia magna）（ECHA） 石英（結晶）（CAS：14808-60-7）： 水生環境有害性 短期（急性）： 非晶質シリカを用いて試験されたデータで、甲殻類（オオミジンコ）の 24 時間 LL ₅₀ >10,000 mg/L、魚類（ゼブラフィッシュ）の 96 時間 LL ₀ =10,000 mg/L（いずれも SIDS, 2013）であることから、区分外とした。（NITE-CHRIIP） 水生環境有害性 長期（慢性）： 信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急性毒性は区分外であるが、無機化合物であり、急速分解性及び生物蓄積性に関する適切なデータが得られていないことから、分類できないとした。（NITE-CHRIIP） 製品分類：区分に該当しない
残留性・分解性	情報なし。
生態蓄積性	情報なし。
土壤中の移動性	情報なし。
オゾン層への有害性	情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 認定を受けている産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空の容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険	該当しない
容器等級	該当しない
絵表示	該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
MARPOL73/78 附属書Ⅱ及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法に定めるところに従う。
航空規制情報	航空法に定めるところ及び、ICAO の規定に従う。
陸上規制情報	道路法、消防法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	該当しない
特別の安全対策	輸送前に包装に破損が無いか、密封できているかを検査する；輸送過程において、包装に破損が無く、貨物の落下防止措置を確実に行う；消防用と漏出処理用の関連設備を配備する；混触危険物質との共同輸送を禁止する。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（ラベル表示・SDS 交付義務対象物質）： アスファルト（CAS：8052-42-4）：令別表第9の11の3（適用日：令和7年3月31日以前施行）；規則別表第2の40（令和7年4月1日施行）。 石英（結晶）（CAS：14808-60-7）：令別表第9の165の2（適用日：令和7年3月31日以前施行）；規則別表第2の578（令和7年4月1日施行）。 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質：アスファルト（CAS：8052-42-4）。 がん原性物質（安衛則）（作業記録等の30年保存対象物質）： 石英（結晶）（CAS：14808-60-7）。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）	特定第一種化学物質：該当しない。 第一種指定化学物質：該当しない。 第二種指定化学物質：該当しない。
消防法	該当しない。
水質汚濁防止法	二硫酸カリウムアルミニウム（CAS：10043-67-1）：指定物質、政令第3条の3第44号。
土壤汚染対策法	該当しない。
大気汚染防止法	該当しない。
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	該当しない。
食品衛生法	規格基準告示別表第1第1表（1）基ポリマー（プラスチック）： 水（CAS：7732-18-5）：カテゴリ、26. 熱可塑性ポリウレタン。 食品用器具・容器包装の改正ポジティブリスト 別表第1第1表（基材）（2025年6月1日以降）： 水（CAS：7732-18-5）：物質コード：06-134、11-347、21-7528。 規格基準告示別表第1第2表 添加剤：

	ポルトランドセメント（CAS：65997-15-1）：番号-1433。 石英（結晶）（CAS：14808-60-7）：番号- 938。 二硫酸カリウムアルミニウム（CAS：10043-67-1）：番号- 1595。		
国際法規			
EC No. 1272/2008 分類	成分	危害分類とコード	危害コード
	該当しない	該当しない	該当しない
REACH 規則 SVHC（高懸念物質）リスト	該当しない。		
米国有害物質規制法(TSCA 在庫品目)	成分	CAS No.	TSCA 在庫品目
	アスファルト	8052-42-4	記入
	ポルトランドセメント	65997-15-1	記入
	水	7732-18-5	記入
	石英（結晶）	14808-60-7	記入
	二硫酸カリウムアルミニウム	10043-67-1	記入
米国水質浄化法	成分	有害物質	優先汚染物質
	該当しない	該当しない	該当しない
発がん性関連法令	アスファルト（CAS：8052-42-4）：IARC-2B、石英（結晶）（CAS：14808-60-7）：IARC-1。		

16. その他の情報

参考情報	1. 国連 GHS 文書改訂 6 版 2. JIS Z 7252：2019 3. JIS Z 7253：2019 4. 労働安全衛生法 5. 毒物及び劇物取締法 6. 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 7. 消防法 8. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）
当該安全データシートの最新修訂日付	2024-8-6
SDS 版	改訂 0
責任免除の説明 以上の情報は参考するものとして、その信憑性が保証できます。当社はユーザーの使用方法及びその結果について何の責任を負いません。ユーザー自身に該当製品の正しい使用方法、またはある目的による生産方法を決定していただきます。上記の注意事項を守れば製品の操作及び使用時に発生するおそれのある財産と人身安全への危害を回避できます。	

*****終わり*****